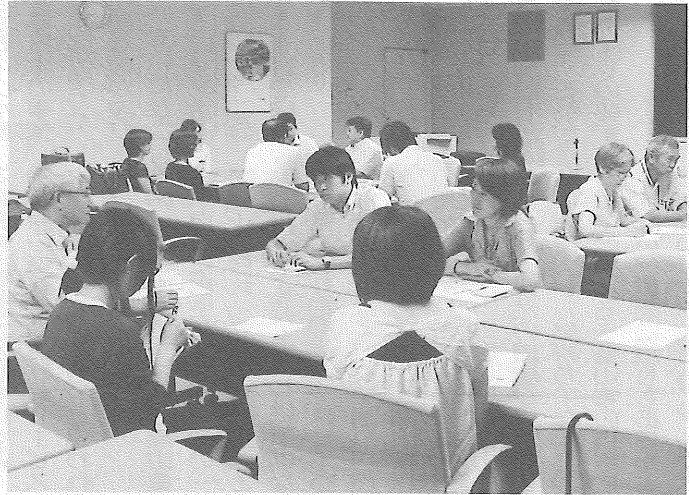


三菱重工

# 「復興は自らの役割」

## 被災地出身、奨学生語る



学生に一般参加者を交えたグループトーク

三菱重工は、「三菱

重工業冠奨学生トークセ

ッション」を三菱重工横

浜ビル(横浜市)で5日

開催した。同社のCSR

(企業の社会的責任)活

動の一環で、東日本大震

災の被災地出身で、同社

から奨学金を受給してい

る大学生らが講演などを

通じ、震災時の体験や復

興に対する思いを語っ

た。同時に、一般参加者

を交えたグループトーク

を行った。

三菱重工は昨年4月か

ら一般財団法人の「教育

ドトゥモロー・大学ス  
ライシップ・プログラ  
ム」を通じて、被災地出  
身の冠奨学生へ4年間の  
奨学金支給を中心とする  
支援を継続している。

5日のトークセッション  
には、同社の冠奨学生  
2人を含む、被災地出身  
のビヨンドトゥモロー参  
加学生の4人が出席し  
た。

冒頭の学生スピーチで  
登壇した岩手県大槌町出  
身で、都内の薬科大学に  
通う冠奨学生の倉本知  
さんは、震災当時の自身  
の状況を振り返った上  
で、「(震災後)どうし  
ようもない不安に襲われ  
ることもあったが、ビヨ  
ンドトゥモローを紹介さ  
れ、復興するのは自分た  
ちの代の役目であり、前  
に進むことの重要性を知  
った。震災を通じて薬剤  
師になりたいという夢へ  
の思いが強くなった」な  
どと述べた。

その後、当日参加した  
三菱重工社員を中心とす  
る写真洗浄ボランティア  
のメンバーらを交え、3  
班に分かれてグループト  
ークを実施。学生と参加  
者の間で、首都圏に伝え  
たい東北の姿や首都圏か  
らの支援のあり方につい  
て議論を深めていた。